

2022年夏 東京都美術館 企画展決定！

## 「フィン・ユールとデンマークの椅子」

会期：2022年7月23日（土）～10月9日（日）

東京都美術館では、2022年7月23日(土)～10月9日(日)に、企画展「フィン・ユールとデンマークの椅子」を開催いたします。

北欧の国デンマークは、デザイン大国として知られます。シンプルで機能的なそのデザインは、ヨーロッパに波及するモダニズムをゆるやかに取り入れながらも、伝統を重んじるデンマークならではの発想のもとに育まれました。

デンマークのデザイナーのなかでも、フィン・ユール（Finn Juhl 1912-1989）は、ひととき美しい家具をデザインしたことで知られます。優雅な曲線の特徴とするその椅子は、「彫刻のような椅子」とも評されます。身体を抽象化したようなやわらかなフォルムは座って心地よければかりでなく、彫刻作品にも似た静謐な存在感を放ち、建築や美術、あるいは日用品と濃密に響き合いながら、空間の調和を生み出す役割をも果たしているようです。



フィン・ユール 《イージーチェア No. 45》  
1945年デザイン、織田コレクション



フィン・ユール 《イージーチェア プロトタイプ》  
1948年デザイン、織田コレクション

本展は、デンマークの家具デザインの歴史と変遷をたどり、その豊かな作例が誕生した背景を探るとともに、モダンでありながら身体に心地よくなじむフィン・ユールのデザインの魅力に迫る試みです。椅子のデザインにはじまり、理想の空間を具現した自邸の設計や、住居や店舗、オフィスのインテリアデザイン、そしてアイデアを伝えるために描いたみずみずしい水彩画まで、フィン・ユールの幅広い仕事を知る機会にもなるでしょう。椅子という、あらゆる日常を支える身近な家具にあらためて光を当てる本展が、コロナ禍のなか新しい生活を模索する私たちが快適に生きるためのヒントを見つける機会となれば幸いです。

◆**展示構成（予定）**◆ 今後、変更の可能性がります

第1章 デンマークの椅子

- 1 デンマーク・デザインのはじまり
- 2 デザインの父、コーア・クリント
- 3 家具職人組合と展示会
- 4 FDB モブラー、デンパルマネンテ
- 5 デザイナーたちの挑戦

第2章 フィン・ユールの仕事

- 1 初期
- 2 フォルムの探求
- 3 生産性への挑戦
- 4 フィン・ユール邸
- 5 アメリカでの活躍
- 6 建築、インテリアデザインの仕事
- 7 1960年代から再評価まで

第3章 デンマーク・デザインを体験する



フィン・ユール《ボーンチェア No. 44》  
1944年デザイン、織田コレクション

◆**開催概要**◆ ※観覧料、開室時間、休室日などは、決定次第ウェブサイト等で公表します。

展覧会名：フィン・ユールとデンマークの椅子

会期：2022年7月23日（土）～10月9日（日）

会場：東京都美術館 ギャラリーA・B・C

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

特別協力：北海道東川町、織田コレクション協力会、旭川家具工業協同組合

学術協力：織田憲嗣（東海大学名誉教授）、多田羅景太（京都工芸繊維大学助教）

お問い合わせ：東京都美術館 03-3823-6921

ウェブサイト：<https://www.tobikan.jp>（後日、特設ウェブサイト開設予定）

◆**広報用画像申請**◆

下記より広報用画像をダウンロードの上、ご使用ください。画像は順次追加します。

画像申請用 URL <https://www.tobikan.jp/plate/8>

◆**読者プレゼント（展覧会チケット5組10名様）**◆

展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用のチケットをお送りいたします。

媒体名、掲載時期、送付先（郵便番号・住所・会社名・担当者名）を下記あてにお送りください。

発送は7月上旬以降を予定しております。

■ 報道関係のお問い合わせ先 ■

東京都美術館 広報担当 山崎

press@tobikan.jp 03-3823-6921